

## 編集後記

### 永原裕子さん猿橋賞を受賞

優れた研究業績を挙げた女性科学者に贈られる第21回猿橋賞の受賞者に、東大大学院理学系研究科の永原裕子助教授が選ばれました。「女性科学者に明るい未来をの会」(古在由秀会長)が5月17日に発表しました。永原さんはコンドライト隕石中に溶け残りの鉱物が含まれることを発見。この鉱物が、太陽系形成以前からあった鉱物が極めて短時間に加熱されてできたことを鉱物の蒸発、凝縮実験を通じて確かめました。また、鉱物に含まれる放射性同位体の年代測定などから、太陽系で星雲ガスが存在していた期間が約200万年と短かったことを示し、太陽系の形成と進化の解明に大きな貢献をされました。惑星科学からの受賞である、永原さんの受賞を心よりお祝い申し上げます。

### 佐々木昌さんラーメンチャンピオンに

TV東京系で放映されている「TVチャンピオン」の1月25日放送分「最新激ウマ店発見!!ラーメン王選手権」に東大大学院理学系研究科の佐々木昌助教授が出場され、みごと優勝をはたしました。出されたラーメンを食べていつもと違うところを指摘する、目隠しをして店に入って店名を当てる、チャーシューだけでどの店のものかを答える、スポイトに入っているわずかなスープだけをヒントに店名を答える(TV東京ホームページより)などの難関をくぐりぬけ勝利の栄冠を手に入れました。惑星科学からの出場である、佐々木さんの優勝を心よりお祝い申し上げます。

これからは独立行政法人化の時代だ、納税者に納得してもらわなければいけない、われわれの仕事が世の中にアピールする必要がある、などの議論をたまに聞きます。ここに紹介したお二人とも今回の受賞を通じて惑星科学の普及に貢献されたと思います。特に佐々木さんの優勝からは、講演会や本の出版といった形とは違った新たな方向性がさぐれるのではないのでしょうか。

城野信一

編集委員

井田 茂 [編集長] 城野 信一 [編集幹事]

荒川 政彦 飯島 祐一 加藤 工 北島富美雄 倉本 圭 小林 直樹 高木 靖彦 高田 淑子

田近 英一 出村 裕英 中村 智樹 中村 良介 平田 岳史 松島 弘一 米田 成一 渡部 潤一

2001年6月25日発行

日本惑星科学会誌 遊・星・人 第10巻 第2号

定 価 一部 1,750円 (送料含む)

編集人 井田 茂 (日本惑星科学会編集専門委員会委員長)

〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1 東京工業大学大学院理工学研究科  
地球惑星科学専攻

印刷所 〒135-0011 東京都江東区扇橋3-5-10 星光社

発行所 〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9 学会センターC21

日本学会事務センター内 日本惑星科学会

TEL 03-5814-5801 FAX 03-5814-5820

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を個人的な使用の目的以外で複写したい方は、著作権者から複写権等の行使の行使の依託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接日本惑星科学会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会

TEL: 03-3475-5618, FAX: 03-3475-5619

E-mail: kammori@msh.biglobe.ne.jp

## 学会誌原稿作成の手引

日本惑星科学会編集専門委員会

### 1. 原稿の様式

はじめに委員長宛に投稿するときはプリントアウトした原稿2部、最終稿では原稿2部（1部に字体、図表の位置指定）とテキストファイルを提出すること。原稿は、原則として、ワープロにより作成されたものとする。また、テキストファイルはフロッピーまたは電子メールで送付のこと。テキストファイル以外の場合は事前に編集幹事に相談のこと。

### 2. タイトル

記事のタイトルは15字以内。また、タイトル、筆者名及び所属を和文・英文両方で付す。

### 3. セクション

セクションは1., 2., ..., サブセクションは1.1, 1.2, ..., 細区分は(1), (2), ..., の記号を頭にして、左寄せ、行末改行とする。また文中での分けは(a), (b), (c)を用いる。これら記号はすべて半角文字を用いる。セクションタイトルは12文字以内で簡潔に、また、セクションタイトルとして“はじめに”, “おわりに”, “まとめ”は避ける。

### 4. 述語

専門用語はなるべく避けるか、十分な説明をつける。特に、対応する日本語がある場合、英語・英略語は使わない。

### 5. 字体

数字、英字は半角とする。また(, ), [, ], :, ;など区切り記号も半角を用いる。本文は立体(ローマン)、数式はイタリックで組む。本文中のイタリックは下線、数式中の立体(ローマン)は2重下線、ゴチック(ボールド)は鼓下線で朱記指定する。

### 6. 単位

使用単位については特に統一しない。ただし、 $\text{gcm}^3$ ,  $\text{cms}^4$ などとはせず、 $\text{g/cm}^3$ ,  $\text{cm/s}$ とする。

### 7. 句読点

句読点は全角の“,”、“.”を用いる。

### 8. 図、表、画像

文中での図表の引用は“図1”, “表2”の形をとる。最終項送付に際して、図表、画像の刷り上がり時の大きさと位置を指定のこと。画像の投稿については、1) 写真の場合：印刷時実寸以上のサイズで鮮明なもの、2) 画像ファイルの場合：印刷時実寸で350dpi相当以上、形式はtiffが望ましい。他の文献から図表を転載する場合には予め編集委員会に照会のこと。

### 9. 脚注

脚注は“1”などの記号をつける。

### 10. 文献の引用

引用文献は重要なものに限る。目安として10項目以内にする。本文中での引用は[1], [2]の形で通し番号をつけ、論文の末尾に一括してリストを載せる。使用言語は原論文に従い。論文名は省略する。3人以上の著者はet al.または他と表記する。形式は以下に従う。

#### 参考文献

- [1] Wakusei, T. and Kinsei, S., 1989: *Astrophys.* **220**, 293-330.  
 [2] Wakusei, T. et al., 1999: *J. Geophys. Res.* **123**, 4567-4572.  
 [3] 惑星太郎, 1992: *天文月報* **85**, 186-190.

### 11. 原稿の送付先

投稿時の原稿送付先は

152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1

東京工業大学大学院理工学研究科

地球惑星科学専攻 井田 茂

FAX: 03-5734-3538

E-mail: ida@geo.titech.ac.jp

最終稿の送付先は

464-8602 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院環境学研究科

地球環境科学専攻 (理学部E館気付)

FAX: 052-789-3013

E-mail: sirono@eps.nagoya-u.ac.jp

城野信一